

2023年

11月号

# ふんふんだより

最近は大分涼しくなってきましたが、温度差が激しく鼻炎症状の出ている方が多いようです。夜間に体を冷さないように気をつけましょう。

AUTUMN

## ふんふんコラム

### 食中毒事件に遭わないために

最近、全国で販売している海鮮弁当や、湧水を利用した流しそうめんによる集団食中毒事件が、相次いで発生しました。いずれも業者側の衛生管理の問題が原因であることが分かっていますが、背景として衛生に関する知識と危険性の認識が、我々に欠けてきている事が要因にあると思います。

お弁当の事件では、マニュアル通りに米飯を十分に冷却する事を怠った事で起きましたが、きちんと冷却をしない米飯が危険であるという認識を持っていないと、マニュアルがあってもその重要性が理解できないのだと思います。また被害に遭われた方のインタビューを聞きましたが、臭いがしたり糸を引いていたのに食べてしまった人が少なくないのにも大変驚きました。

流しそうめんの事件では、利用していた湧水が豪雨の影響により汚染されていたのに、直前に行くべき水質検査をしていなかった事がわかっています。

これら二つの事件を教訓に、私たち個人が食中毒事件から身を守るためには、

- ①販売されているものが必ず安全とは限らないという認識を持ち、商品の色・臭いや加熱状態など確認し、気になった場合は食べないか再加熱すること。
  - ②水道水が安全に飲めるのは、厳密な管理が行われているからであり、いくらきれいに見えても、湧水や清流の水は非加熱で無闇に使用しないようにすること。
- 以上が可能な配慮かと思えます。食中毒は時に重症で後遺症が残ったり、亡くなる事もあります。後悔するぐらいなら少々大げさに対処した方が良いかもしれません。



## こどもQ&A

### セアカゴケグモに咬まれたらどうしたら良いですか？

最近大分県の小学校で毒をもつセアカゴケグモが大量に見つかったというニュースがありました。セアカゴケグモは、従来日本国内には生息していないクモでしたが、1995年に大阪府で発見されてから、生息地域を全国に拡大しています。

セアカゴケグモには攻撃性はありませんが、側溝やパイプの内部などに巣を作る習慣があり、触ると咬まれる事があります。咬まれてからしばらくして痛みが出現し徐々に強くなり、痛む範囲も広がります。全身症状としては全身の痛みが主で、他に嘔吐、発熱、めまい、頭痛、下痢、食欲不振、全身の関節痛などが出現する事があり、重症例は小児、高齢者に多いと言われています。

咬まれた場合は石鹸などを用いて温水で洗い、痛みが強い場合には痛み止めの内服薬を使用します。オーストラリアではかつて死亡例があったため、重症例には抗毒素（ヘビに咬まれた時にも使用するいわゆる血清）のセアカゴケグモ版を使用しています。抗毒素が開発されてからは死亡例の報告はないそうです。

日本では抗毒素は一部の病院でしか使用できませんので、とにかく咬まれないように普段から写真などを見せて、お子さんに注意喚起するようにしましょう。万が一咬まれたらと思ったら駆除したクモを持参して、早めに受診してください。



虫と皮膚炎(夏秋 優 著)より抜粋

2023年

11月号

November

お知らせ

ありたき小児科分院  
ぷんぷんイベントカレンダー

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

